

ホーム画面の使い方

タッチスクリーンの基本的な操作方法を理解したら、ホーム画面の見方や使い方を覚えましょう。本書ではホームアプリを「docomo LIVE UX」に設定した状態で解説を行っています。



1 ホーム画面の見方

ステータスバー
ステータスアイコンや通知アイコンが表示されます (P.16～17参照)。

ウィジェット
アプリが取得した情報を表示したり、設定のオン/オフを切り替えたりすることができます (P.22参照)。

アプリアイコン
「dメニュー」などのアプリのアイコンが表示されます。

マッチキャラ
タップすると、知りたいことに応えてくれます (Sec. 40参照)。

ドック
ホーム画面を切り替えても常に同じアプリアイコンが表示されます。

フォルダ
アプリアイコンを1箇所にとめることができます。

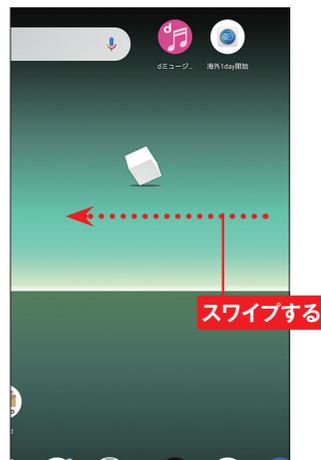
アプリ一覧ボタン
すべてのアプリを表示します。

マイマガジンボタン
タップすると、ユーザーが選んだジャンルの記事を表示する「マイマガジン」を利用できます。

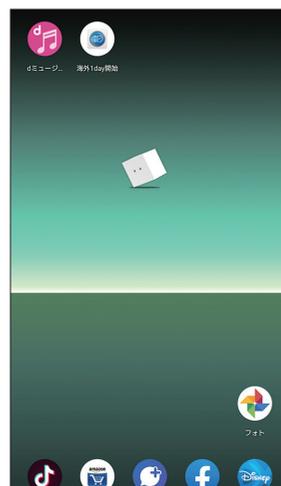
インジケーター
現在見ているホーム画面の位置を示します。左右にスワイプ（フリック）したときに表示されます。

2 ホーム画面を左右に切り替える

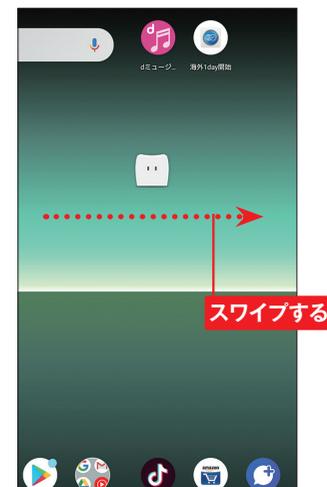
- ① ホーム画面は、左右に切り替えることができます。まずは、ホーム画面を左方向にスワイプ（フリック）します。



- ② ホーム画面が、1つ右の画面に切り替わります。



- ③ ホーム画面を右方向にスワイプ（フリック）すると、もとの画面に戻ります。



MEMO ホーム画面を上下にスワイプ

ホーム画面を上方向にスワイプすると、マイマガジンボタンをタップしなくても「マイマガジン」を利用することができます。



文字を入力する

SO-41Aでは、ソフトウェアキーボードで文字を入力します。「12キー」(一般的な携帯電話の入力方法)や「QWERTY」などを切り替えて使用できます。



SO-41Aの文字入力方法

12キー

かな入力

QWERTY

ローマ字入力

音声入力

音声入力

手書き

手書き入力

GODAN

ローマ字入力

MEMO 5種類の入力方法

SO-41Aには、携帯電話で一般的な「12キー」、パソコンと同じ「QWERTY」のほか、音声入力の「音声入力」、手書き入力の「手書き」、「12キー」や「QWERTY」とは異なるキー配置のローマ字入力の「GODAN」の5種類の入力方法があります。なお、本書では音声入力、手書き、GODANは解説しません。

キーボードを使う準備をする

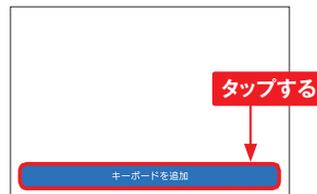
① 初めてキーボードを使う場合は、「入力レイアウトの選択」画面が表示されます。<スキップ>をタップします。



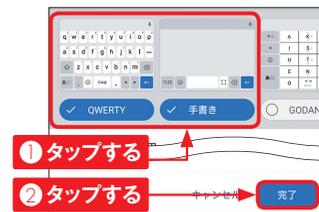
② 12キーのキーボードが表示されます。⚙️をタップします。



③ <言語>→<キーボードを追加>→<日本語>の順にタップします。



④ 追加したいキーボードをタップして選択し、<完了>をタップします。



⑤ キーボードが追加されます。←を2回タップすると手順②の画面に戻ります。



MEMO キーボードの切り替え

キーボードを追加したあとは手順②の画面で⚙️が🌐に切り替わるので、🌐をロングタッチします。切り替えられるキーボードが表示されるので、切り替えたいキーボードをタップすると、キーボードが切り替わります。



電話をかける・受ける



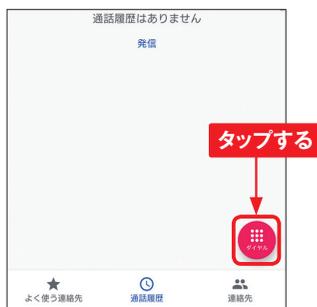
電話操作は発信も着信も非常にシンプルです。発信時はホーム画面のアイコンからかんたんに電話を発信でき、着信時はドラッグまたはタップ操作で通話を開始できます。

電話をかける

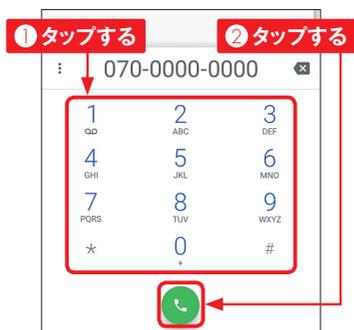
1 ホーム画面で電話アイコンをタップします。



2 「電話」アプリが起動します。＜ダイヤル＞をタップします。



3 相手の電話番号をタップして入力し、電話アイコンをタップすると、電話が発信されます。



4 相手が応答すると通話が始まります。電話アイコンをタップすると、通話が終了します。



電話を受ける

1 電話がかかってくると、着信画面が表示されます（スリープ状態の場合）。着信画面を上方方向にスワイプします。また、画面上部に通知が表示された場合は、＜電話に出る＞をタップします。



2 相手との通話が始まります。通話中にアイコンをタップすると、ダイヤルキーなどの機能を利用できます。



3 電話アイコンをタップすると、通話が終了します。



MEMO スグ電とは

SO-41Aでは、着信中に特定のジェスチャーを行うことで、電話に回答したり、拒否したりできる「スグ電」が利用可能です。P.44の手順①で「電話」アプリを起動し、右上の「設定」をタップし、＜設定＞→＜通話＞→＜スグ電設定＞の順にタップして設定を行うことで、下記のようなジェスチャーで操作できます。

耳元に当てる	電話に回答する
2回振る	電話を拒否する
下向きに置く	着信音を消す

音量・マナーモード・操作音を設定する

音量は「設定」アプリから変更できます。また、マナーモードはバイブレーションがオン/オフの2つのモードがあります。なお、マナーモード中でも、動画や音楽などの音声は消音されません。



音楽やアラームなどの音量を調節する

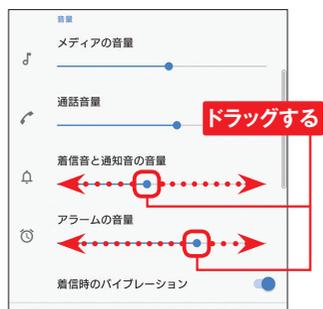
- 1 P.18を参考に「設定」アプリを起動して、<音設定>をタップします。



- 2 「音設定」画面が表示されます。「メディアの音量」の●を左右にドラッグして音楽や動画の音量を調節します。



- 3 手順②と同じ方法で、「着信音と通知音の音量」や「アラームの音量」も調節できます。



- 4 画面左上の←をタップして、設定を完了します。



マナーモードを設定する

- 1 本体の右側面にある音量キーを押します。



- 2 音量アイコンをタップします。



- 3 アイコンが🔔になり、バイブレーションのみのマナーモードになります。🔔をタップします。



- 4 アイコンが🔕になり、バイブレーションもオフになったマナーモードになります（アラームや動画、音楽は鳴ります）。🔕をタップすると🔔に戻ります。



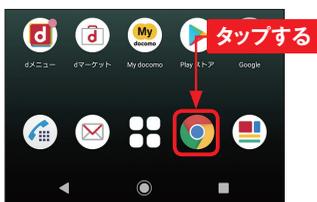
Webページを閲覧する

SO-41Aでは、「Chrome」アプリでWebページを閲覧できます。Googleアカウントでログインすることで、パソコン用の「Google Chrome」とブックマークや履歴の共有が行えます。



Webページを閲覧する

① ホーム画面を表示して、をタップします。初回起動時はアカウントの確認画面が表示されるので、<同意して続行>をタップし、「Chromeにログイン」画面でアカウントを選択して<続行>→<OK>の順にタップします。



② 「Chrome」アプリが起動して、Webページが表示されます。「アドレスバー」が表示されない場合は、画面を下方方向にスライドすると表示されます。



③ 「アドレスバー」をタップし、URLを入力して、をタップします。

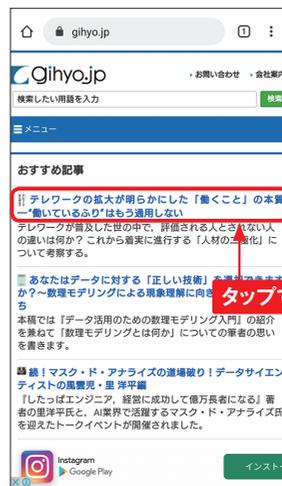


④ 入力したURLのWebページが表示されます。

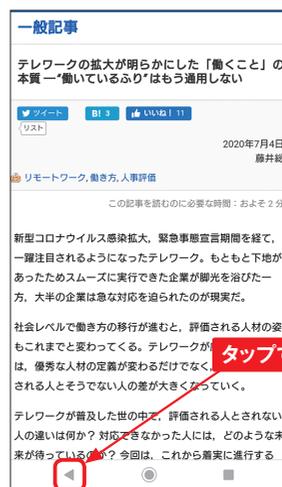


Webページを移動・更新する

① Webページの閲覧中に、リンク先のページに移動したい場合、ページ内のリンクをタップします。



② ページが移動します。◀をタップすると、タップした回数分だけページが戻ります。



③ 画面右上のをタップして、→をタップすると、前のページに進みます。



④ をタップして、をタップすると、表示しているページが更新されます。



MEMO 「Chrome」アプリの更新

「Chrome」アプリの更新がある場合、手順①の画面で、右上のがになっていることがあります。その場合は、→<Chromeを更新>→<更新>の順にタップして「Chrome」アプリを更新しましょう。

Gmailを利用する

SO-41AにGoogleアカウントを登録しておけば（Sec.11参照）、すぐにGmailを利用することができます。パソコンでラベルや振分け設定を行うことで、より便利に利用できます。



受信したメールを閲覧する

- ホーム画面で<アプリ一覧ボタン>をタップし、<Gmail>をタップします。「Gmailの新機能」画面が表示された場合は、<OK>→<GMAILに移動>の順にタップします。



- 「ようこそ」と表示されたら、<次へ>→<OK>の順にタップすると、「メイン」画面が表示されます。画面を上方向にスライドして、読みたいメールをタップします。



- メールの差出人やメール受信日時、メール内容が表示されます。画面左上の<戻る>をタップすると、受信トレイに戻ります。なお、<返信>をタップすると、返信することもできます。

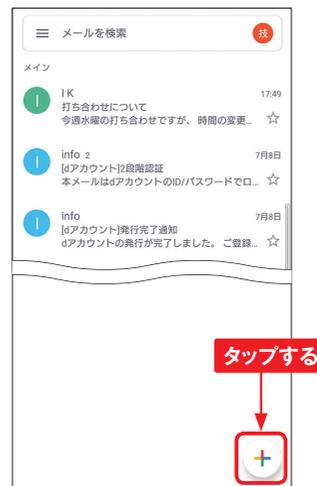


MEMO Googleアカウントの同期

Gmailを使用する前に、Sec. 11の方法であらかじめSO-41Aに自分のGoogleアカウントを設定しましょう。P.37手順⑮の画面で「Gmail」をオンにしておくと、Gmailも自動的に同期されます。すでにGmailを使用している場合は、受信トレイの内容がそのままSO-41Aでも表示されます。

メールを送信する

- P.90を参考に「メイン」などの画面を表示して、<+>をタップします。



- メールの「作成」画面が表示されます。<To>をタップして、メールアドレスを入力します。「連絡先」アプリ内の連絡先であれば、表示される候補をタップします。



- 件名とメールの内容を入力し、<送信>をタップすると、メールが送信されます。



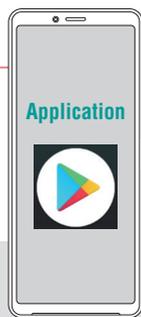
MEMO メニューの表示

「Gmail」の画面を左端から右方向にフリックすると、メニューが表示されます。メニューでは、「メイン」以外のカテゴリやラベルを表示したり、送信済みメールを表示したりできます。なお、ラベルの作成や振分け設定は、パソコンのWebブラウザで「https://mail.google.com/」にアクセスして行います。



アプリをインストール・アンインストールする

Google Playで目的の無料アプリを見つけたら、インストールしてみましょう。なお、不要になったアプリは、Google Playからアンインストール（削除）できます。



■ アプリをインストールする

- ① Google Playでアプリの詳細画面を表示し（P.99手順⑥～⑦参照）、<インストール>をタップします。



- ② 初回は「アカウント設定の完了」画面が表示されるので、<次へ>をタップします。支払い方法の選択では<スキップ>をタップします。



- ③ アプリのダウンロードとインストールが開始されます。



- ④ アプリのインストールが完了します。アプリを起動するには、<開く>をタップするか、ホーム画面に追加されたアイコンをタップします。



MEMO ホーム画面にアイコンを追加しない設定

ホーム画面にアイコンを追加したくない場合は、ホーム画面の何も無いところをロングタッチし、<ホームの設定>→<ホーム画面にアイコンを追加>の順にタップして●を○にします。

■ アプリをアップデートする／アンインストールする

- アプリをアップデートする

- ① 「Google Play」画面の左端から中央に向けてフリックし、表示されるメニューの<マイアプリ&ゲーム>をタップします。



- ② アップデート可能なアプリがある場合、「アップデート利用可能」に一覧が表示されます。<すべて更新>をタップすると、アプリが一括で更新されます。



MEMO ドコモのアプリのアップデートとアンインストール

ドコモで提供されているアプリは、上記の方法ではアップデートやアンインストールが行えないことがあります。詳しくは、Sec.41を参照してください。

- アプリをアンインストールする

- ① 「マイアプリ&ゲーム」画面で<インストール済み>をタップし、アンインストールしたいアプリをタップします。

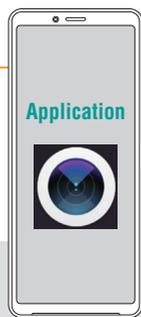


- ② アプリの詳細が表示されます。<アンインストール>をタップし、<OK>をタップするとアンインストールされます。このとき、削除理由のアンケートが表示される場合があります。



写真や動画を撮影する

SO-41Aは高解像度・高感度の最新式カメラを搭載しています。「フォト」や「ビデオ」などの撮影モードのほか、さまざまな撮影オプションを利用することができます。



「カメラ」アプリの初期設定を行う

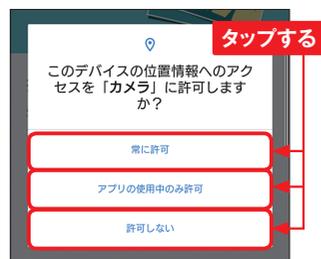
- 1 ホーム画面を2回左にフリックして「カメラ」をタップします。



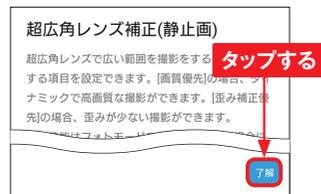
- 2 「撮影場所を記録しますか?」と表示されたら、<いいえ>もしくは<はい>をタップします。



- 3 「このデバイスの位置情報へのアクセスを「カメラ」に許可しますか?」と表示されたら、<常に許可>、<アプリの使用中的み許可>、<許可しない>のいずれかをタップします (P.135MEMO参照)。



- 4 超広角レンズ補正についての説明が表示されたら、<了解>をタップします。カメラが起動して利用可能になります。カメラが起動して利用可能になります。



写真を撮影する

- 1 P.134を参考に「カメラ」アプリを起動します。画面にタッチし、ピンチイン/ピンチアウトすると、ズームアウト/ズームインでき、画面上に倍率が表示されます。



- 2 ピントを合わせたい場所がある場合は、画面をタップするとすぐにピントが合います。○をタップすると、写真を撮影します。



- 3 撮影が終わると、画面右上に撮影した写真のサムネイルが表示されます。撮影を終了するには、(本体が縦向きの場合は) をタップします。



MEMO ジオタグの有効/無効

P.134手順②で<はい>、手順③で<アプリの使用中的み許可>をタップすると、撮影した写真に自動的に撮影場所の情報(ジオタグ)が記録されます。自宅や職場など、位置を知られたくない場所で撮影する場合は、オフにしましょう。ジオタグのオン/オフは、手順①の画面で をタップして、<位置情報を保存>をタップすると変更できます。

ホーム画面を カスタマイズする

ホーム画面には、好きなアプリのショートカットを自由に配置してアプリをすばやく起動することができます。また、フォルダを作成して、ショートカットをまとめることもできます。



アプリアイコンを並べ替える

- ① ホーム画面で「アプリ一覧ボタン」をタップします。



- ② 「すべてのアプリ」が表示された右上端の▼をタップすると、並べ替え方法が表示されるので、ここでは「アプリ名順」をタップします。



- ③ アプリ名順にアイコンが並べ替えられました。



MEMO アプリ名で検索する

手順②で、画面上部にある検索窓に、アプリ名を入力することで、アプリを検索することができます。1文字入力することにより、候補が絞られ、該当するアプリが表示されます。



ショートカットを作成・移動する

- ① アプリ一覧画面で、ショートカットを作成したいアプリのアイコンをロングタッチします。



- ② メニューが表示されるので、「ホーム画面に追加」をタップします。



- ③ ホーム画面にアプリのショートカットが作成されます。再びショートカットを移動させたいときは、目的のショートカットをロングタッチします。



- ④ ドラッグして任意の位置へ移動させます。画面端までドラッグすると、左右のホーム画面にも移動できます。削除するには、画面上部の「削除」までドラッグします。



サイドセンスで操作を快適にする

SO-41Aには、「サイドセンス」という機能があります。画面右端に表示されるサイドセンスバーをダブルタップしてメニューを表示したり、スライドしてバック操作を行ったりすることが可能です。



サイドセンスをオンにする

- ① アプリ一覧画面で<設定>をタップし、<画面設定>→<詳細設定>の順にタップします。



- ② <サイドセンス>をタップします。



- ③ <OFF>になっている場合はタップして、をにします。



サイドセンスの動作設定

手順③の画面で<サイドセンスバーの感度調整>をタップすると、ダブルタップの感度などを調整できます。また、<サイドセンスバーの操作範囲>をタップすると、ダブルタップが有効な範囲の変更が可能です。

サイドセンスを利用する

- ① 画面右側のサイドバーをダブルタップします。なお、ダブルタップが有効な範囲については、P.166 MEMOを参照してください。初回は<始める>をタップします。



- ② サイドセンスメニューが表示されます。上下にドラッグして位置を調節し、起動したいアプリ(ここでは<Chrome>)をタップします。



- ③ タップしたアプリが起動します。



MEMO サイドセンスのその他の機能

手順②の画面に表示されるサイドセンスメニューには、使用状況から予測されたアプリが自動的に一覧表示されます。そのほか、画面の側面もしくはサイドバーを下方方向にスライドするとバック操作(直前の画面に戻る操作)になり、上方方向にスライドすると「21:9マルチウィンドウ」メニュー(P.20参照)を表示します。

